

講座名	国語 日本語学分野				
開講日	平成 28 年 8 月 19 日（予備日 8 月 20 日）				
時間数	6 時間		講座の形態		講義と演習
受講予定者数	40 名	履修認定対象職種	教諭	主な受講対象	中・高等学校国語科教諭
講座の到達目標	国語すなわち日本語について、正確な知識を得ること、そしてその基礎に立って、反省的に国語の諸問題を考えること。				
講座の概要	「日本語はどういう言語か」というタイトルで、世界の中の日本語、日本語では、意味がどのように生まれるのかについて概説し、さらに日本語の歴史の概略そして文法構造の特質について講述する。日頃接している日本語について、それを反省的に捉えることを目指す。				
講座の計画	1 時限	世界の中の日本語：日本語は世界の中でどういう言語なのかを講述する。			
	2 時限	日本語の音節と「いろは歌」への径庭：日本語の音節数がどう変化したのか、その中での「いろは歌」について講述する。			
	3 時限	意味と語源：意味とはどういう現象なのか、そして語源とは現在の私たちとどう関わるのかを講述する。			
	4 時限	助詞「を」について、それが本来どういう働きであったのか、現在の用法から反省する。			
修了確認の方法	筆記試験（8 月 19 日の 4 時限に行う）の評価による。				
成績評価の視点	筆記試験によって評価する。				
備考	1 時限は 90 分 テキストは使用しない。必要な資料は授業時適宜配布する。 参考文献は授業時に適宜指示する。				
担当者	内田 賢徳(京都女子大学文学部 非常勤講師)				